

3年3組 英語科 単元学習指導案

高槻市立五領中学校
授業者：山口 毅・北村 麗子

1, 単元名 Lesson 5 Houses and Lives ～ALTに日本文化を紹介しよう～

2, 単元の目標

☆コミュニケーションの関心・意欲・態度☆

ALTに日本文化を伝えるにあたって、グループワークの際相手にわかりやすく自分の文章を積極的に伝えようとしたり、相手の意見にしっかりと耳を傾けている。また恐れずに進んでグループ活動に取り組むことができている。

☆外国語表現の能力☆

関係代名詞（ who, which, that ）を使って文章を作る事ができる。

☆外国語理解の能力☆

関係代名詞を含んだ英文を読んで、内容を正しく理解できる。

☆言語や文化についての知識・理解☆

"What am I?"で、ALTに日本文化を伝えよう。

グループでALTに伝えたい日本の文化・習慣を考え、

関係代名詞を使用して、それを伝える。

3, 単元について

Lesson 5 では、関係代名詞の主格・目的格の who, which, that を中心に文法項目を学習する。教科書ではその後の、Projectとして日本文化を紹介することになっているが、今回履修する関係代名詞を使うことで表現をより充実させたい。

そのProjectを通して、関係代名詞をより身近に感じ、使えるようになることで関係代名詞の理解を深めることを目的としている。

4, 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
間違ふことを恐れず、積極的に日本の文化・習慣について伝えようとしている。	ア.日本の文化・習慣について説明することができる。 イ.説明のためのメモを書くことができる。	ア.教科書の文章やプリントの文を読んで、その内容を読み取る事ができる。 イ.他者が話している内容を理解できる。	関係代名詞（ who, which, that ）に関する知識を身につけている。

5, 指導（評価）計画

時	学習項目	評価規準	主な学習活動	
1	関係代名詞thatの理解	関係代名詞の主格（that）を正しく使うことができる。（④）	帯学習 「ことわざ」	関係代名詞（that）のプリントで関係代名詞を理解する。 thatの関係代名詞を使って2文文章を作成する。
2	p.52 音読・読解	本文の内容を理解し、暗唱することができる。（③ーア）		p.52の本文を音読。 ペアワークで本文を音読。 本文の読解を各自で行い、全体で確認。
3	関係代名詞 who, whichの理解	関係代名詞の主格（who, which）を正しく使うことができる。（④）		関係代名詞（who, which）のプリントでwho, whichを理解する。 本時の関係代名詞を使って、各2文ずつ文章を作成する。
4	p.54 音読・読解	本文の内容を理解し、暗唱することができる。（③ーア）		p.54の本文を音読。 ペアワークで本文を音読。 本文の読解を各自で行い、全体で確認。
5	関係代名詞（目的格）の理解	関係代名詞の目的格（who, which, that）を正しく使うことができる。（④）	帯学習 「ことわざ」	関係代名詞の目的格のプリントでwho, which, thatを理解する。 本時の関係代名詞を使って各2文文章を作成する。
6	p.56 音読・読解	内容を理解し、本文を暗唱することができる。（③ーア）		p.56の本文を音読 ペアワークで本文を音読。 本文の読解を各自で行い、全体で確認。
7	p.58	・本文の内容を理解でき、T & Fの問題に答えることができる。（③ーア）（④）		p.58の本文音読。
8	音読・読解			ペアワークで読み合い 本文の読解を各自で行い、全体で確認
9	日本文化Project① 内容理解	先生が言っている内容を理解し、何を伝えたいかを知る。（③ーイ）	帯学習 「関係代名詞の復習」	何の説明をしているのかを考えながら、ALTのスピーチを聞く。 内容をプリントに書き取る。

10	日本文化 Project② 題決め	どんな日本文化をA L Tに伝えたいかを積極的に考え、授業に取り組む事ができている。(①)	「入試必須単語」	①先生が考えてきた日本文化を聞く。 ②先生のスピーチの内容をプリントに書き取る。 ③題を決めたら、なぜその日本文化をA L Tに伝えたいかも合わせて考える。
11	日本文化 Project③ 資料集め	自分が決めたお題の知識を深める。積極的にお題に対しての資料を集めることができている。(①)	帯学習	①国語や社会の教科書や自分が用意した参考書から自分のお題の資料を集める。
12	日本文化 Project④ マインドマップ	前回集めた資料からマインドマップ作業を行うことができる。(②ーイ)	「入試必須単語」	①先生のマインドマップ作業を確認する。 ②自分が集めた資料からマインドマップ作業を行う。
13	日本文化 Project⑤ 文章作成	前回考えた日本文化を説明するための文章を5～7文、関係代名詞を用いて、作ることができる。(④) 自分が考えた文章をしっかり相手に伝えている。(②ーア) 積極的にグループで発言をしたり相手の発表に耳を傾けたりしている。(①)	「関係代名詞の復習」	①関係代名詞の復習をする。 ②関係代名詞を用いて、5-7文の文章を作成する。 ③自分で考えた文章をグループで発表。 ④他者の発表を聞き、何が良かった、悪かった等の意見を伝える。 ⑤良かった文章などをスクリーンで映し、全員で共有する。 ⑥その意見をもとに、再度自分の文章を見直す。
14	日本文化 Project⑤ 音読練習	自分が作成した説明文章をしっかりと音読している。(①)		①前回考えた文章を各自で音読。
15	日本文化 Project④ 発表	(A L Tに)他の生徒が説明している時に、内容を理解することができる。(③ーイ)		他のグループの発表を聞き、聞き取った事をメモする。

3年3組 英語科 本時の流れ

高槻市立五領中学校
授業者：山口 毅
北村 麗子

・学習項目；ALT に紹介する文を作成する（第13時）

・本時の流れ

	生徒の活動	教師の支援
10	<ul style="list-style-type: none"> ・帯学習 関係代名詞クイズ“What am I?” ・どの項目のクイズをするか選択する。 ・各自で答えを考え、answer sheet に答えを記入。 ・6つ全てを answer sheet に記入し、先生に提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を示す ・answer sheet を配布する。 ・生徒が選択したお題の文章を読む。 ・聞き取れなかったり、もう1度聞きたい人のために2度繰り返す。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の補足 例題1題を確認し、関係代名詞の復習を確認する。 ・日本文化についての情報を机に出す。 ・先生の例題を確認する。 ・自分が調べてきた情報を確認し、スピーチの原稿を作成していく。 文章を作る際の2つのポイントをしっかり確認する。 ・最初に関係代名詞の文章を1文作成し、できた生徒から他の文章も作成する。 ・原稿ができた人は音読練習を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例題1題を用いて、関係代名詞の説明を行う。 ・例題のスピーチ原稿を示す。 ・清書のための sheet を配布する。 ・時間を与え、その時間内で作成するよう机間指導する。 ・スピーチ原稿ができているか確認し、できている生徒に関しては音読練習を行うよう指示する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・4人のグループを作る。 ・作成した自分の文章(関係代名詞)をグループで発表する。 ・スピーチしている人の関係代名詞の文章を聞き取り、シートに書く。 ・良い文章が書けていた人の原稿を確認する。 ・清書ができたら、音読練習を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現、発音等について机間指導する。 ・見本となる生徒の文章を他の生徒に紹介する。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・再度自分のスピーチを確認し、修正する場合は修正する。 ・原稿ができた人は音読練習を行う。 ・あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを回収する。 ・次の時間の予告と宿題を示す。